



2024年12月9日

各位

上場会社名株式会社シーイーシー
代表取締役社長 姫野 貴
(コード番号 9692 東証プライム)
問合せ先責任者 経営企画部長 田中 達裕
(TEL.03-5789-2442)

データセンター事業の再編に伴う特別損失の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年12月9日開催の取締役会において、以下のとおり、データセンター事業の再編に伴う特別損失の計上について決議いたしましたのでお知らせいたします。

また、あわせて決議内容を反映した通期業績予想の修正をお知らせいたします。

記

1. データセンター事業の再編について

(1) データセンター事業再編の概要

当社は日本国内に4か所のデータセンターを運営し、クラウドサービス、ハウジング／ホスティングサービスを中心として広範なサービスを展開しております。

当期において、2025年2月から開始する、長期展望 VISION 2030 および次期中期経営計画を策定するにあたり、従来のデータセンター事業から、クラウドサービスを中心とした事業への転換を加速する観点から事業戦略を見直し、あわせてデータセンターの再編を検討してまいりました。

今後、クラウドサービスの強化を図るにあたり、既設のデータセンターでは設備の仕様、能力が十分ではなく、お客様のニーズに対し十分に 대응することが難しくなってくるのが予想され、昨今の急速なクラウド化進展と市場ニーズの変化を考慮すると、既設のデータセンターの設備拡充およびハイブリッド型データセンター※への移転が必要と判断いたしました。

また、上記再編に伴い、今後活用見込みのない有形固定資産の簿価全額を特別損失(減損損失)として計上することといたしました。

※ハイブリッド型データセンター：

オンプレミスとクラウドベースのインフラストラクチャを組み合わせたコンピューティング環境。オンプレミス上の情報資産とマルチクラウド環境間でのアプリケーションおよびデータ共有を容易にし、顧客の利便性向上を図る。

(2) 対象拠点および再編の理由

① 移転先の新規データセンター確保

(開設理由) ハイブリッド型データセンターとしての事業拡大

② 神奈川第一データセンターの改修

(改修理由) 既存データセンターの設備拡充

③ 東京第二データセンターの移転および原状回復

(移転理由) 設備の老朽化と今後の拡張性、電源設備の不足

(3) 拠点再編のスケジュール概要

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ① 新規データセンターの営業開始 | 2025年 2月から順次実施予定 |
| ② 神奈川第一データセンターの設備拡充 | 2026年 4月末日までに完了予定 |
| ③ 東京第二データセンターの顧客設備移転 | 2026年 10月末日までに完了予定 |
| ④ 東京第二データセンターの原状回復および返却 | 2027年 4月末日までに完了予定 |

(4) 費用概算と発生の時期

データセンターの再編に伴い、今後活用見込みのない有形固定資産の簿価全額を特別損失（減損損失）として計上いたします。

① 有形固定資産の減損損失額

2025年1月期

8.5億円

② 今後の事業展開

今後、新規および既存データセンターの設備拡充に伴う収益と費用に関しましては、2025年3月発表予定の、長期展望 VISION 2030 および次期中期経営計画にてお知らせいたします。

2. 業績予想の修正について

(1) 通期業績予想の修正

2025年1月期連結業績予想数値の修正(2024年2月1日～2025年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	56,500	6,280	6,300	4,300	127.91
今回修正予想 (B)	56,500	6,280	6,300	3,700	112.04
増減額 (B - A)	—	—	—	△600	—
増減率 (%)	—	—	—	△14.0	—
(ご参考) 前期実績 (2024年1月期)	53,124	6,361	6,409	4,541	135.15

(2) 修正の理由

「1. (1)データセンター事業再編の概要」に記載した、クラウドサービスを中心とした事業への転換とデータセンター再編により、当期において 8.5 億円の特別損失を計上いたします。

(3) 期末配当予定について

今回の通期業績予想修正に伴う期末配当(30円)予想の修正はございません。

以 上